

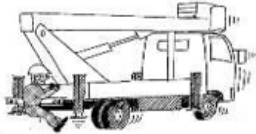
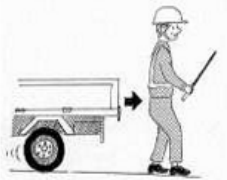
車輛による死亡労働災害を撲滅しましょう！

山梨県内では、労働者が車両に轢かれることにより、令和7年だけで5人が亡くなっています。

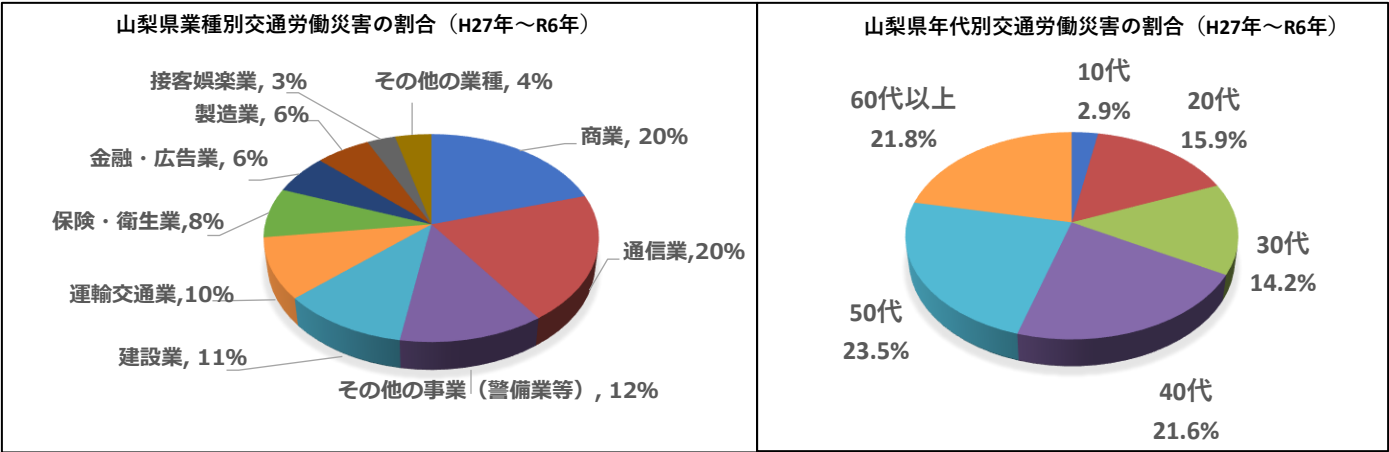
トラック等に轢かれる労働災害は、自動車等の車両を使用する全ての事業場で起こりうる災害です。

また、被災者は、一人を除き、全て60歳以上であることから死亡労働災害の撲滅に向け、「エイジフレンドリーガイドライン」及び「交通労働災害防止のためのガイドライン」に基づいた取組を労使一体となって推進しましょう。

令和7年 山梨県内の車両による死亡労働災害一覧

4月17日 笛吹市	63 男	建設業 作業員	はさまれ・巻き込まれ 高所作業車	傾斜のある道沿いで高所作業車を使用して樹木を伐採し、次の作業場所に移動するため、高所作業車の後方の操作盤にてアウトリガーを上昇させたところ、車が逸走して被災者が轢かれた。	
6月4日 甲府市	64 男	警備業 警備員	はさまれ・巻き込まれ 移動式クレーン	傾斜のある道路沿いの電線に接触した木の伐採工事で、道路幅が狭く、後ろ向きのまま移動式クレーンを進行したところ、工事現場の警備員が移動式クレーンの走行経路内に立ち入り、車両に轢かれた。	
9月25日 大月市	64 男	警備業 警備員	交通事故（道路） トラック	片側1車線の舗装改修工事で、資材運搬を行うトラックがバック走行中、方向転換のため右後方に曲がろうとしたところ、交通整理をしていた誘導員がトラックの走行経路に立ち入り、車両に轢かれた。	
11月1日 静岡県 裾野市	55 男	運送業 運転手	交通事故（道路） トラック	荷主先へ向かうため、新東名高速道路下り線をトラックで運転していたところ、タイヤの空気圧の低下を感じた。そのため、路肩に停車し、車外に出て三角表示版を置いたところ、後方から走行してきた乗用車に轢かれた。	
12月5日 甲州市	75 男	調査中 運転手	交通事故 トラック	舗装工事で使用する生コンクリートを運搬するため、被災者がコンクリートミキサー車を運転して現場に入場し、打設箇所までバック走行をするために切り返していたところ、路肩から脱輪して約6m下の道路脇の畑にミキサー車が転落し、運転席部分が下になる状態で閉じ込められた。	

データでみる山梨県内の交通労働災害（業種別／年代別）



- ・ 業種別では、商業、通信業が多く、続いてその他（警備業等）や建設業が多い
- ・ 60代以上の労働者の占める割合は約22%、50代以上を含めると約45%を占める

交通労働災害防止対策（チェックリスト）

チェック項目		☒
①	交通労働災害防止に関する管理者を選任し、役割・責任・権限を定めましょう。	☐
②	改善基準を守り、適正な計画によって、運転者の十分な睡眠時間等に配慮した労働時間の管理をしましょう。	☐
③	雇い入れ教育（法定教育）、日常の教育、交通危険予知訓練（KYT）を定期的に実施しましょう。	☐
④	点呼時に、労働者の疾病、疲労、睡眠不足、飲酒等の確認を行いましょう。	☐
⑤	社用車等に自動ブレーキ、ペダル踏み間違い時加速抑制装置等の先進安全技術を搭載した車両を導入しましょう。	☐
⑥	大型のトラックなどで狭い道を走行する際には、必ず誘導員を配置しましょう。	☐
⑦	降車時には、確実にハンドブレーキがかかっていることを確認しましょう。	☐
⑧	誘導員、警備員であっても、走行経路には、立ち入らないことを徹底しましょう。	☐
⑨	高年齢労働者でも安全に働き続けることができるよう、施設、設備、装置等の改善を検討し、必要な対策を講じましょう。	☐
⑩	敏捷性や持久性、筋力の低下等の高年齢労働者の特性を考慮して、作業内容等の見直しを検討し、適正な作業管理を実施しましょう。	☐

※チェック項目については、下記から抜粋

- ・ 「交通労働災害防止のためのガイドライン」
- ・ 「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」

